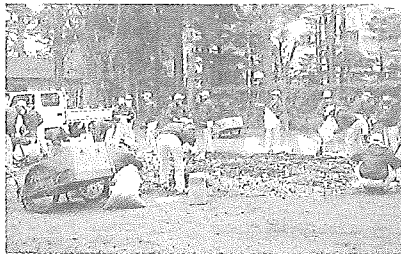


各企業の社会貢献

宮坂建設工業グループが清掃活動

恩返しへの気持ち込め

安全祈願、入魂式も実施



【帯広発】宮坂建設工業（株）（帯広、宮坂寿文社長）をはじめとする宮坂建設工業グループは7日、帯広神社と十勝護国神社の清掃活動を行った。地域に対する恩返しへの気持ちを込めて、境内や参道を丁寧に清掃した。写真上。

年から実施しているもので、ことしで十七回目。グループから宮坂建設工業のほか、（株）平田建設（土幌、野中栄忠社長）、（株）寿エンジニア（帯広、小林俊昭社長）の職員ら約百人が参加した。

清掃に当たり宮坂建設工業の宇佐美恭広専務があいさつ。「清掃はことしで十七回目となった。来週から工事本格化していく。気持ち新たに活動して仕事に当たってほしい。けがのないよう十分留意して活動してほしい」と呼びかけた。



当日はグループに分かれ、両神社の参道や境内を清掃。ゴミや枯れ枝などを拾い集めたほか、どんと焼きで出た灰を「ミ」袋に詰めていった。

また、清掃終了後、参加者全員で帯広神社で安全祈願、入魂式を実施した。はじめにあいさつした宮坂社長「写真下」は「私は今回の大震災の現場を見てきて、建設業に対する期待をひしひしと感じた」と話し、「宮坂建設工業で創業九十周年、グループ各社も長い社歴を持ち、活動している。我々は十勝、北海道という地域の中で何ができ

るかということを考えていかなければならない。備えあれば憂いなしということおし一年間活動していきたい」と語った。

り、地域のためということを念頭に置きながら、ことし一年間活動していきたい」と語った。

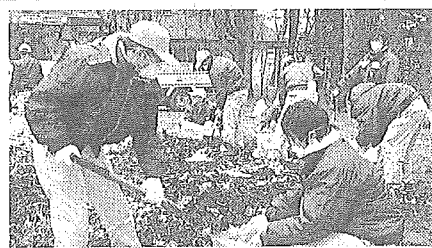
北海道建設新聞

2011年(平成23年)5月10日(火曜日)

神社敷地で清掃ボランティア

宮坂建設工業が安全祈願祭も

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）は7日、帯広神社と十勝護国神社で清掃奉仕活動をした。グループ会社を合わせ約100人が参加し、敷地内の環境美化に努めた。写真。両神社の清掃活動は



毎年春先に実施している。17回目の今回は、平

田建設（本社・土幌、野中栄忠社長）、寿エンジニア（同・帯広、小林俊昭社長）の2社も参加した。

宮坂建設工業の宇佐美恭広専務は「来週から工事が本格化するため、清掃活動では事故やけがの

ないように」と呼び掛けた。4班に分かれ、どんと焼きの焼却灰を袋詰めしたほか、ごみや枯れ枝などを拾い集めた。

終了後には帯広神社神前で安全祈願祭を実施し、無事故無災害を祈願した。